

No. 16-80 JSME ジュニア会友向け 機械の日企画報告
「親子見学会 ～先端かつ最新の科学技術を学び、将来を考えよう～」

部門企画委員会 村川英樹（神戸大）、馬場宗明（産総研）
中垣隆雄（早大）、小池上一（IHI）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2016年7月29日に夏休み親子見学会を開催しました。本見学会は毎年開催しており、本年度は13回目の開催となります。今年は産業技術総合研究所つくばセンターと宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センターを訪問し、「先端かつ最新の科学技術を学び、将来を考えよう」をテーマに見学会を実施しました。今回も昨年度と同様に、世田谷文学館との共催として実施し、JSME ジュニア会から54名（保護者含む）が、世田谷文学館からは24名（引率者含む）の合計78名にご参加いただきました。

午前中に訪問した産業技術総合研究所では、サイエンス・スクエアと地質標本館を見学しました。サイエンス・スクエアには研究所で開発してきた最新の研究が展示されており、創薬支援ロボットやカーボンナノチューブなどを子供たちは興味深く見学していました。さらに偏光板によって画面の見え方が変わる体験や、レアメタルを分別する方法をクイズ形式で答えるなど、遊びながら科学技術を体験でき、その仕組みについて興味を持っているようでした。地質標本館では多くの化石や鉱物が展示されており、子供たちは恐竜の骨やブラックライトで光る鉱石など、熱心に見ていました。どちらの施設も時間内で全てを見ることは難しかったようで、もっと長く見学したいとの声が子供たちから多数聞かれました。

午後のJAXA 筑波宇宙センターの見学では、宇宙服や宇宙食、人工衛星などを見学しました。予備機として作られた“本物”の人工衛星や、地球への帰還用カプセルを前に、多くの子供たちが写真を撮り、実際の大きさを体感していました。見学の後にはJAXAの松本様、澤田様にご講演いただきました。松本様には宇宙の定義や開発の歴史についてのお話しを、澤田様には、宇宙での“熱”についてお話しいただきました。ご講演中のクイズにも、子供たちは積極的に答えてくれていました。最後には魔法の棒（ヒートパイプ）を使った実験を披露していただき、子供たちは銅パイプとの熱の伝わり方の違いに興味を持って触っており、科学技術について肌で体験したものと思います。

参加していただいた子供たちには、見学会を題材にした自由研究作品の応募をお願いしています。優秀作品は、日本機械学会ジュニア会ホームページ等で紹介する予定です。是非ご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりました産業技術総合研究所、宇宙航空研究開発機構の方々へ感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様に感謝いたします。



産業技術総合研究所 つくばセンター



宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター